

夏にやられちゃった、親を、嘆くことはないのだよ

お天道力まざまざ、といった夏でした。お盆過ぎれば、たぶん、峠は越えたのでしょうか、私たちの体は、これからが要注意ですね。熱中症も大変なものです、熱やら光やらへの対応で、体は相当弱っていることでしょう。そういえば、先日、娘に「親はやられちゃってなんとか生きているというありさま」だと書かれていました。私は、この時代、この夏の生き様として、半分位やられちゃまっているのでよいのだよ、と諭したいです。

どんな季節も安穏と生きられないのが、私たち虫けらの宿命でもあります。そもそも、世界の力の猛威をしのぎきることに全力を挙げることなく、命のこと、人間のこと、世界のことなんか、少しも見えてこないと思います。思想だ政治だと表面的な言葉は、経済・金勘定に言いくるめられてしまうだけでしょう。

私も日々浅知恵で生き延びているのですが、浅知恵を発揮するに際して心掛けるのは、分際ともいうものでしょうか。大きな力とせめて瀬戸際のバランスを保ちたい。自分のしでかす破壊が、思いもよらぬ結果をもたらさないよう、短期間で回復、復元される微々たる力の行使が、哀しいけれど、ちょうどよいと思っています。さ細なバランスを保つ試みが連なり、折り重なり、世界の中に人は生きていけます。均衡の破れが、資源の枯渇であったり、いくつかの種の絶滅であったり、争い、戦争の原因であったりと、細部からの積み重ねあつての薄氷のような平和なのですから、立派な言葉も実に頼りなく、大方ははかないものとなります。

私の見立てでは滅びの道をこの道と決め、ひたすら先を急ぐ大層偉い人びとを、カメムシが私たちを見るように、手短かに確認します。言葉が通じぬ害をなすかもしれない異種が、今何をしているかを頭に入れておいて、ひたすら樹液や果汁をすする様に、雑草を引き抜き、刈り払い、種を播くのです。

夏の忍法、化身の術、伸び放題の術を駆使し、ダラダラと、ヨロヨロと、草の道を行きます。(晃)



白崎裕子さん、「きょうの料理」に出演

何度かその著書をご紹介している、寄居町出身の料理研究家の白崎裕さんが、ついに、NHK「きょうの料理」に登場です。すでに発売中のテキスト8月号にも掲載されているそうです。

- ★ほめられスイーツ「寒天プリン」★
- ・Eテレ本放送＝8月20日(木) 午後9時～9時25分
 - ・Eテレ再放送＝8月21日(金) 午前11時～11時25分
 - ・総合テレビ再放送 8月24日(月) 午前10時15分～40分

～プリンやゼリーなど、のどごしのよいお菓子がうれしい季節。ゼラチンと違い、夏の常温でも溶けにくい、寒天を使い、「寒天プリン」「寒天コーヒーゼリー」「寒天ジャスミンレモンゼリー」を、ラッピング術も合わせて紹介～とのこと。「動く」裕子さんを、私も久しぶりに拝見しようと思っています。(8月17日 泰子)

